

# 地震

予測がつきにくい災害です。そのため、地震発生時を想定した日頃の備えが大切です。



## 知る

### □ 大きな地震が来たらどうなるの？

- ▶ 強い揺れが起きたときは、思うように動くことができません。

どう行動したらよいか  
想定してみよう！

緊急地震速報(予報)	緊急地震速報(警報)		緊急地震速報(特別警報)		
震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半が揺れに驚く。 	物につかまりたいと感じる。 	行動に支障が出る。 	立っているのが困難。 	はまないと動けない。 	揺れにほんろうされる。 

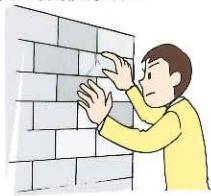
## 備える

### □ 地震に備えるにはどうするの？

- ▶ 家屋や屋内の点検をし、安全な環境をつくっておきましょう。

揺れたときの家の中の  
状況を想定して対策を！

■家の点検強化



■家具の固定



■家具配置の見直し



■避難経路の確保



## 身を守る

### □ 地震が起きたときの注意点は？

- ▶ まず身を守ることが大切です。周りの状況を見て慌てず行動しましょう。

外では塀の倒壊や看板などの落下に注意！

- 揺れている間は机の下など安全な場所で身を守る。

- 揺れがおさまったら窓や戸を開けて出口を確保する。

- 火は揺れがおさまってから始末する。

- 家が倒壊するなど危険と判断したら避難する。

TOPICS

### 町近くの断層帯に注意！ -黒松内低地断層帯-

黒松内低地断層帯は、北海道寿都郡寿都町から同郡黒松内町を経て、山越郡長万部町に至る断層帯です。長さは約32km以上で、ほぼ南北方向に延びており、断層の西側が相対的に隆起する逆断層です。

#### どこにあるの？

黒松内低地断層帯は、寿都湾南方から内浦湾にかけて分布する活断層帯です。



#### どんな危険があるの？

黒松内低地断層帯は、全体が1つの活動区間として活動する場合、マグニチュード7.3程度以上の地震が発生する可能性があります。その場合、今金町の広範囲で震度6強、一部で震度7となる予測を国は公表しています。また、今金町直下で地震が起った場合にも町内の広い範囲で震度6強となることが予想されます。震度6を超えると、耐震性が低い建物は倒壊する恐れがあります。地震の揺れは、震源からの距離と、地盤の揺れやすさに左右されます。今金町の低地帯の地盤は、揺れやすい性質となっていて、周辺よりも揺れが2倍程度大きくなる可能性があります。

このため、今金から離れた場所で地震が起った場合でも、大きな揺れになってしまうことも予想されます。